

備前市事務事業評価シート

事業の概要		根拠法令・例規等	備前市青少年育成センター設置条例 備前市補助金等交付規則
事業開始年度	昭和46年度～		
総合計画	大項目 基本構想	01	重点政策「教育」
	中項目 基本計画	01	将来を担う人材が育つまち
	小項目 施策	01	家庭教育の支援と青少年教育の充実
事務事業名	02	青少年健全育成事業	
このシート作成に要した時間		1.0 時間	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	備前市内の20歳未満の青少年。	
目的 (何のために)	青少年の健全な育成を期する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を未然に防止し、各種啓発活動により家庭・地域・学校が一体となって健全育成活動の充実を図る。	

事業の実績		事業の説明	優先度
細事業名			
目的を達成するため実施した事業	青少年健全育成推進本部補助事業	市民の総意を結集し、地区青少年健全育成会との連携を深め、県及び市の施策と呼応して次代を担う青少年の健全育成を図ることを目的に組織された備前市青少年健全育成推進本部の事業の補助を行う。	◎
	青少年育成センター運営事業	備前市内の青少年の健全な育成を期するため、関係機関及び団体等との密接な連絡調整のもとに、青少年の非行を防止するとともに非行青少年の指導に努めることを目的に設置した青少年育成センター施設の管理運営	○

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績				
	事業費	直接事業費	千円	10,825	10,984	10,916				
	必要人員費	人員費	千円	0.46人 4,144	0.51人 4,760	0.46人 4,304				
	事業費	事業費	千円	14,969	15,744	15,220				
	財源	国	支出金							
		受	益者負担							
繰		入金								
市	債									
その他()										
一	般	財	14,969	15,744	15,220					
受	益	者	負	担	比	率	%	-	-	-

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	青少年補導事業参加者数	人	151	148	165
	対前年比	%	-	98.0%	111.5%
	活動コスト	円	150,000	153,780	153,230
	単位当たりコスト	円	993	1,039	929

事業の成果		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	年度				
青少年の健全育成を目的とした講演会及び懇談会等の参加者数	目標値 (A)				
	実績値 (B)	882	837	872	到達目標値
	達成率 (B/A)	98.00%	93.00%	96.89%	100%

成果指標設定の考え方・式や説明
近年は、学校や市内各地域との連携強化をはじめ、きめ細かな街頭指導や親身な対応する相談業務、青少年のための環境浄化活動を粘り強く継続してきたことが奏功し、青少年の健全育成に関して成果が出てきている。しかし、こういった活動に取り組む過程において、子どもだけでなく家庭の教育力も高めていく必要があるという課題が浮き彫りになってきた。そこで、保護者を対象に青少年の健全育成を目的とした講演会及び懇談会等の参加者数を成果指標に設定した。

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
	効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託合）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価		目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業については積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している		B

進行年度 (H26年度) の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	青少年の健全育成を目的とした保護者を対象とした学習事業については、参加者のニーズにマッチした内容を模索し、必要に応じて学習をリードすることができる人材を養成するなど有意義な学習機会となるよう引き続き工夫する。

総合評価		総合評価
青少年の健全育成を図るためには、様々な環境の整備が必要である。単なる非行補導に留まらず、非行発生を予防するため、今後も、学校・家庭・地域における団体と連携・協力した取り組みを行う必要がある。		
		ABCDE 高や普や低い や通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標		Action
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了	
取組目標	学校・家庭・地域の関係機関との連携・協力により、青少年の健全育成を図る。	

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな